

岩国市議会議員 松川たくじ の



◆編集・発行:松川
たくじ後援会事務
所◆岩国市麻里布
町3-8-2



市政活動便り

麻里布地区水害対策について

平成26年、麻里布地区においてゲリラ豪雨といわれる集中豪雨にとり水害が発生し、麻里布地区に大きな損害をもたらしました。その原因は、大きく2点に分けることができる分析されています。

《原因1》麻里布川・室の木川の氾濫

短期間に豪雨が発生したことにより、麻里布川・室の木川の氾濫により河川が越流し麻里布町・室の木町に濁流水が流れ込み、床上・床下浸水等の被害や麻里布中学校グラウンドに濁流水が流れ込み土砂が堆積し、一時使用不能になりました。この原因とされるのは、麻里布川・室の木川に短期間に大量の雨水が流れ込み河川が越流したと考えられます。

その対策として、現在麻里布中学校グラウンドに貯水池を設置し、支線である西本谷川から流れ込む雨水を一時的に溜めて室の木川の氾濫を防ぐ工事が行われています。麻里布中学校グラウンドに設置される貯水池の能力は、4,300トンの雨水を貯留可能で、国が示した10年に一度の確率で起こるとされている一時間に50ミリの降水量の雨水を30分程度貯留可能な能力を持っています。平成26年に起こった豪雨では、30分に70ミリの雨量でしたので、前回と同様の雨量であれば被害は軽減できるという計画です。また、室の木川は砂山町2丁目と麻里布町4丁目の境界辺りで、室の木地区から流れる焼野水路と合流し、そこでも越流が起これり付近の麻里布地区に濁流水が流れ込みました。この地点の越流も室の木川に流れ込む水量を軽減することで回避できるというものです。麻里布中学校グラウンドに計画されている貯水池は平成30年度（平成31年3月末）に完成予定となっているので一日も早い完成が望まれるところです。

《原因2》駅前商業エリアの下水の氾濫

駅前地区の商業エリアでは、下水の氾濫による水害が発生しました。その原因は、この地区の雨水の最終処理場である一文字処理場で処理しきれない水量が流れ込んだため、下水管から溢れだしたようです。この対策としては、一文字処理場にも麻里布中学校グラウンド同様の貯水池を設置しピーク時の雨水を溜めて防ぐ計画です。一文字処理場に設置される貯水池の能力は 3,600 トンで、平成33年3月を目途に完成する予定です。

本来であれば、大規模な河川工事や下水道工事を行えばよいのですが、それには莫大な経費と長期にわたる工事期間が必要であるため今回の計画に至ったようです。いずれにしても、中心市街地である麻里布地区が水害にあえば岩国市の都市機能がマヒしてしまう危険性があるので、市役所や警察署付近の水害対策も含め、今後も皆さんのご意見を参考にしながら、行政に様々な要望や提言を行っていきたいと考えておりますので、ぜひご意見をお聞かせください。

